

## 第42回 かなえ医薬振興財団 助成金受賞者が決定！

かなえ医薬振興財団は、生命科学分野の斬新な研究の推進を図り、若手研究者を育成するために1970年に設立され、これまでに全国1,450名の研究者に研究助成金および海外留学助成金を提供してまいりました。第42回となる2013年度は、10月8日の選考委員会及び10月21日の理事会を経て、受賞者60名が決定されました。今年は研究助成金が40名、海外留学助成金が15名、アジア・オセアニア交流研究助成金が5名で、総額6,000万円の助成金を交付します。

(受賞者一覧は3-4頁参照)



10月8日開催の選考委員会の様子

### ○分野別の応募状況

#### ◇研究助成

分野	応募数
臨床医学1	35
臨床医学2	43
臨床医学3	63
臨床医学4	85
基礎医学1	123
基礎医学2	122
合計	471

#### ◇海外留学助成

分野	応募数
臨床医学1	21
臨床医学2	12
臨床医学3	16
臨床医学4	48
基礎医学1	36
基礎医学2	49
合計	182



10月21日開催の理事会の様子

◇アジア・オセアニア交流研究助成  
 応募数 20  
 応募数合計：673件

### ●選考委員長よりひとこと

選考委員長 寺本 明 (東京労災病院 院長)



今年度も昨年度に引き続き、応募領域を臨床医学の4分野、基礎医学の2分野とアジア・オセアニア交流研究の合計7分野で公募しました。臨床医学分野は1) 神経/脳、2) 循環器、3) 消化器/代謝・内分泌、4) 呼吸器/免疫・アレルギー/血液/その他、基礎医学分野を1) 癌/免疫/ゲノム/感染、2) 神経/薬理/薬物動態/その他とアジア・オセアニア交流は老年医学/再生医学/感染症/疫学/医療機器/漢方/その他です。今回の応募数も多く、全国の大学、研究所、病院等100以上の施設からの応募があり、研究助成471報、海外留学助成182報、アジア・オセアニア交流研究助成20報で、厳正な審査の結果、研究助成40名、海外留学助成15名、アジア・オセアニア交流研究助成5名が決定いたしました。研究助成が11.8倍、海外留学助成12.1倍、交流研究助成4倍の厳しい競争の中で受賞された先生方に、心よりお喜びを申し上げます。この受賞が、先生方の今後の研究活動により一層の励みとなり、生命科学分野の進歩発展にさらに貢献されることを期待しております。

## ●研究助成金受賞者 喜びの声



### 村上 丈伸 (福島県立医科大学 神経内科)

研究課題をご評価いただき大変光栄に思います。ご採択いただいた当財団および審査員の先生方、力強く推薦して下さった宇川教授、そして私の所属する福島県立医科大学のスタッフの皆様は心より感謝いたします。

本研究はアルツハイマー病における感覚入力情報の処理機構について脳機能画像を用いて検討すると共に、磁気刺激法を用いた非薬物的治療法の開発を目指します。本研究が認知症対策の一助となるよう精進したいと思います。

### 武田 憲文 (東京大学大学院医学系研究科 循環器内科)

この度は第42回かなえ医薬振興財団助成にご採択いただき、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。私は心臓での細胞間相互作用の研究に従事しながら、海外留学中には腸管・毛包など他臓器での幹細胞・組織再生の研究にも携って参りました。最近、既存の心筋細胞の分裂・増殖が、内因性の心筋再生に大きく関与する事を示唆する報告が相次いでおり、これまでの経験を生かして、この分裂能を規定する要因の特定と制御を目指したいと考えております。今回の受賞を励みとして、更に本研究を深めて参りたいと思います。



### 福田 晃久 (京都大学医学部附属病院 消化器内科)

この度は、第42回かなえ医薬振興財団研究助成を賜り、心より御礼申し上げます。

私の主な研究領域は膵臓癌の病態解明であり、とくに今回の受賞テーマとなりましたのは、膵臓癌の発生におけるクロマチンリモデリング因子の役割を解明することです。膵臓癌の病態解明に少しでも寄与するべく、今回の受賞を励みにして、研究活動により一層の努力を重ねて行きたいと思います。

### 松下 貴史 (金沢大学医薬保健研究域医学系 皮膚科学)

この度は第42回かなえ医薬振興財団助成金にご採択いただき、誠に光栄に存じます。

制御性B細胞は近年新しく同定された、免疫反応を抑制するB細胞サブセットですが、いまだその機能は十分解明されておりません。私は、この制御性B細胞を用いた自己免疫性疾患に対する新規治療法の開発を目指して研究を進めております。今回の受賞を励みにより一層研究に精進し、臨床応用につながる研究成果を挙げられるよう努力して参りたいと思います。



### 菊田 順一 (大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学)

この度は、第42回かなえ医薬振興財団研究助成金に採択していただき、大変喜ばしく光栄に存じます。私は、骨粗鬆症や関節リウマチなどの骨吸収性疾患の病態に関わる破骨細胞に焦点を当て、骨組織の生体二光子励起イメージング技術を用いて、破骨細胞の分化・機能の解明と新規骨疾患治療薬の開発に取り組んでいます。今回の受賞を励みにして、より一層の努力を重ね、臨床現場に還元できるような基礎医学研究を行っていききたいと思います。

### 掛川 渉 (慶應義塾大学医学部 生理学教室)

この度は、第42回かなえ医薬振興財団助成金にご採択いただき、心より感謝申し上げます。私はこれまで、記憶・学習を担う脳内シナプスがどのような過程で形成され、機能するかについて興味をもち研究を行ってまいりました。シナプスの形成機構の解明は、学術面ばかりでなく、記憶・学習障害を伴う神経疾患への治療応用にもつながるものと期待しております。今回の受賞を励みとし、社会に貢献できるような成果をご報告できるよう、より一層研究に精進していききたいと思います。



## ●海外留学助成金受賞者 喜びの声

### 佐治 越爾 (新潟大学脳研究所 神経内科)



この度は第42回かなえ医薬振興財団海外留学助成金に採択して頂き、心より感謝申し上げます。私はこれまで多発性硬化症および視神経脊髄炎を含む中枢神経系脱髄疾患の病態機序の解明に取り組んできました。近年、多発性硬化症は患者数が増加し続けており、病態機序に基づいた副作用の少ない治療薬が必要とされております。留学先では多発性硬化症における酸化ストレス傷害機構に着目し、病態機序の解明を目指し研究に邁進する所存であります。

### 金森 肇 (東北大学病院 総合感染症科)

この度は第42回かなえ医薬振興財団海外留学助成にご採択頂き、心より感謝申し上げます。薬剤耐性菌による医療関連感染や集団感染事例が世界中で報告されており、医療機関では適切な感染対策の実施が求められています。私はこれまで国内外で薬剤耐性菌や感染対策に関する研究を行って参りました。今回の受賞を励みにして、留学先で薬剤耐性菌および医療関連感染に関する研究を推進するために、より一層の努力を重ねる所存であります。





●アジア・オセアニア交流研究助成金受賞者 喜びの声



嘉糠 洋陸 (東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座)

この度は貴財団のアジア・オセアニア交流研究助成を頂きまして、誠に有り難うございます。感染症流行はボーダーレス化が進んでおり、昨今でも重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の本邦でのアウトブレイクが記憶に新しいです。デング熱はヤブカ媒介性のウイルス感染症であり、近隣では台湾がその流行国です。ヤブカなどの節足動物はなぜ病気になるのか、トランス機構からその謎を紐解く過程で、台湾研究機関での感染実験施設を活用します。貴財団の助成に重ねて御礼申し上げます。

●第42回(平成25年度)助成金受賞者 一覧

研究助成金

氏名	所属	研究課題
<b>臨床医学1：神経／脳</b>		
村上 丈伸	福島県立医科大学医学部 神経内科学	アルツハイマー病における聴覚視覚統合機能と側頭葉領域の活動性に関する検討
富田 興一	大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学講座 形成外科学	自家神経グラフトと間葉系幹細胞を融合した強化型神経グラフトの開発
柏崎 大奈	富山大学医学部 脳神経外科	内頸動脈狭窄症の血管内皮前駆細胞を用いた新しい治療法の確立
<b>臨床医学2：循環器</b>		
武田 憲文	東京大学医学部附属病院 循環器内科	成獣心筋細胞の分裂能に及ぼす要因の解明と制御
田中 (大石) 由美子	東京医科歯科大学難治疾患研究所 細胞分子医学分野	免疫代謝システムの変調による生活習慣病の分子機構の解明
松島 将士	北海道大学病院 循環器内科	心不全における Nox4 によるミトコンドリア品質管理機構の解明および新たな心不全治療法の開発
佐々木 直人	神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学分野	高血圧・動脈硬化における獲得免疫の関与の解明および新規治療法・予防法の開発
<b>臨床医学3：消化器／代謝・内分泌</b>		
福田 晃久	京都大学医学部附属病院 消化器内科	膵臓癌におけるクロマチンリモデリング因子の役割
熊代 尚記	東邦大学医療センター 大森病院 糖尿病・代謝・内分泌センター	睡眠障害によるインスリン抵抗性発症機序の解明
小松 周平	京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器外科学	消化器癌血中遊離 microRNA を指標とした抗癌剤感受性に関わる次世代個別化バイオマーカーの網羅的探索
本村 貴志	九州大学大学院医学研究院 消化器総合外科学分野	老化及び代謝異常に伴う肝再生抑制とオートファジーの役割
突田 壮平	東北大学大学院医学系研究科 糖尿病代謝内科学分野	臓器間神経ネットワークに基づく肥満発症メカニズムの解明
<b>臨床医学4：呼吸器／免疫・アレルギー／血液／その他</b>		
松下 貴史	金沢大学医薬保健研究域医学系 皮膚科学	制御性 B 細胞における細胞内シグナル伝達の解析ならびに新規治療法の開発
島田 和之	名古屋大学高等研究院 / 大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学	悪性リンパ腫細胞の臓器指向性のメカニズム解明と責任遺伝子を標的とした革新的治療法の開発
藤原 亨	東北大学大学院医学系研究科 血液分子治療学寄附講座	再生不良性貧血の病態解明と新規治療法の開発
塩田 真己	九州大学大学院医学研究院 泌尿器科学分野	転移性前立腺癌におけるタキサン系抗癌剤耐性機序
安田 浩之	慶應義塾大学医学部 呼吸器内科	メタボローム解析を用いた Onco-suppressive metabolite (癌抑制性代謝因子) の同定
小坂 威雄	慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室	がん幹細胞性の遺伝子ネットワークの初期化による難治性前立腺癌に対する新規治療戦略
平田 哲也	東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科	着床前期胚特異的遺伝子を用いて作成した iPS 細胞の potency と安全性に関する検討
<b>基礎医学1：癌／免疫／ゲノム／感染</b>		
菊田 順一	大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学	生体イメージング技術を駆使した破骨細胞分化メカニズムの解明
関谷 高史	慶應義塾大学医学部 微生物学免疫学教室	制御性 T 細胞誘導因子 Nr4a の活性を制御する分子機構の解明
西村 智	東京大学医学系研究科 システム疾患生命科学による先端医療技術開発拠点	肥満脂肪組織における局所免疫賦活化機構の解明と新規治療法の開発
桑原 誠	愛媛大学医学部附属病院 先端医療創生センター	免疫システムの老化に伴うオステオポンチン産生誘導機構の解明
甲斐田 大輔	富山大学先端ライフサイエンス拠点 甲斐田研究室	mRNA スプライシング異常が疾患を引き起こす分子メカニズムの解析
八木 良二	千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学教室	Th9 細胞によるアレルギー遷延化機構の解明
山本 泰憲	神戸大学大学院医学研究科 生理学・細胞生物学講座 膜動態学分野	T 細胞活性化における小胞体膜挿入装置の役割
喜多村 晃一	金沢大学医薬保健研究域医学系 分子遺伝学	遺伝子編集酵素 AID/APOBEC ファミリーによる核内ウイルス DNA 制御機構の解明
西野 邦彦	大阪大学産業科学研究所 感染制御学研究分野	トランスポーター制御による細菌恒常性維持機構の解明と新規治療戦略の開発
田浦 学	熊本大学エイズ学研究センター 岡田プロジェクト研究室	HIV-1 潜伏感染成立における HIV-1 restriction factor Murr1 の機能解明
池ノ内 順一	九州大学理学研究院生物科学部門 代謝生理学研究室	浸潤癌形成における細胞膜脂質の機能解析
<b>基礎医学2：神経／薬理／薬物動態／その他</b>		
掛川 渉	慶應義塾大学医学部 生理学	神経回路形成・機能を制御する新しいシナプス分泌因子の解析
松原 勤	大阪市立大学大学院医学研究科 機能細胞形態学	薬物誘発性肝細胞死における小胞体ストレス応答因子 CHOP の機能解析
土居 雅夫	京都大学大学院薬学研究科 医薬創成情報科学	現代型不眠症治療を目指した生体リズム調整薬の開発
菅田 浩司	慶應義塾大学医学部 生理学	進化的に保存された血液脳関門の分子機構の解明

仲矢 道雄	九州大学大学院薬学研究院 薬効安全性学分野	死細胞の貪食をターゲットにした新しい心筋梗塞治療法創出のための分子基盤の解明
任 書晃	新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子生理学分野	異分野連携により創製する画期的光学測定系を駆使した内耳振動現象の解析
森本 充	理化学研究所 発生・再生総合科学研究センター 呼吸器形成研究チーム	気管支の分岐点に幹細胞ニッチを作る機構の解明
篠原 正浩	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 システム発生再生医学	破骨細胞による肥満制御分子メカニズムの解明
熊本 奈都子	名古屋市立大学大学院医学研究科 機能組織学分野	成体脳海馬神経新生における脳虚血関連分子 ASIC1a の機能解析
相澤 秀紀	東京医科歯科大学難治疾患研究所 分子神経科学分野	うつ病に特徴的なレム睡眠障害におけるグルタミン酸輸送体の役割

## 海外留学助成金

氏名	申請時所属／留学先	研究課題
<b>臨床医学1；神経／脳</b>		
西本 祥仁	慶應義塾大学医学部 生理学教室／ Department of Biological Chemistry and Molecular Pharmacology, Harvard Medical School, Harvard Stem Cell Institute	運動変性疾患での RNA 代謝調節に関わる RNA エクソソーム複合体機能異常の検索
佐治 越爾	新潟大学脳研究所 臨床神経内科学分野／ Department of Neuroimmunology, Center for Brain Research, Medical University of Vienna	多発性硬化症における酸化ストレス傷害機構の病態機序の解明
<b>臨床医学2；循環器</b>		
杉浦 唯久	東京女子医科大学病院 心臓血管外科学／ Ohio State University Nationwide Children's Hospital	tissue-engineered 人工血管の研究
<b>臨床医学3；消化器／代謝・内分泌</b>		
坂本 啓	University of Michigan Medical School Department of Pathology	消化管感染症における常在細菌叢、病原菌、宿主免疫の三者相互作用の経時的解析
<b>臨床医学4；呼吸器／免疫・アレルギー／血液／その他</b>		
小山 正平	Dana-Farber Cancer Institute	トランスジェニック肺癌モデルマウスを用いた新規免疫療法の開発
千代田 達幸	慶應義塾大学医学部 産婦人科／ The University of Chicago	卵巣癌の早期発見と予防を目的とした極初期発癌機構の解明
金森 肇	東北大学病院 総合感染症科／ University of North Carolina Health Care	薬剤耐性菌および医療関連感染の分子疫学的研究
野畑 二次郎	千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学／ NIH/NIDCR, Oral and Pharyngeal Cancer Branch	頭頸部癌の発生・転移分子メカニズム解明のための基礎的研究
<b>基礎医学1；癌／免疫／ゲノム／感染</b>		
星居 孝之	金沢大学がん進展制御研究所 遺伝子染色体構築研究分野／ Memorial Sloan-Kettering Cancer Center	シグナル伝達とエピジェネティクス制御のクロストークによる白血病幹細胞制御機構の解明
佐々木 真理	愛媛大学医学系研究科 分子病態医学／ Ludwig Institute for Cancer Research	乳腺発生と乳癌における EGF 受容体シグナルの時空間的制御メカニズムの解明
野島 孝之	Sir William Dunn School of Pathology, University of Oxford	次世代新生 RNA シークエンス法を用いた新規疾患マーカーの探索と医薬品候補化合物作用機序の解明
<b>基礎医学2；神経／薬理／薬物動態／その他</b>		
金森 崇浩	(公財) 大阪バイオサイエンス研究所 神経細胞生物学研究部門／ University of Basel	大脳皮質一次視覚野ニューロンの受容野を形成する神経回路基盤の解明
伊藤 靖浩	東京大学分子細胞生物学研究所 情報伝達研究分野／ Harvard University	皮質脊髄運動ニューロンの脊髄分節への軸索投射を制御する分子メカニズムの解明
藤田 尚信	University of California, San Diego, Cell and Developmental Biology	シヨウジョウバエをモデルに用いた筋細胞に特異的な膜構造 T-tubule の形成・再構成機構の解明
徳弘 圭造	Laboratory of Cellular and Developmental Biology, National Institute of Diabetes, Digestive and Kidney Diseases, National Institutes of Health	哺乳類における多精子受精阻止機構の解明

## アジア・オセアニア交流研究助成金

氏名	所属	研究課題
<b>アジア・オセアニア交流研究；老年医学／再生医学／感染症／疫学／医療機器／漢方／その他</b>		
嘉糠 洋陸	東京慈恵会医科大学医学部 熱帯医学講座	デング熱媒蚊のトランス機構の解明
高梨 さやか	東京大学大学院医学系研究科 発達医学	バングラデシュにおける下痢原性ウイルスに対する迅速診断薬とワクチン開発に向けた学術交流
長谷川 光一	京都大学物質-細胞統合システム拠点 NCBS-inStem サテライトラボグループ	南インドにおける遺伝性心筋症の病態メカニズムの解明
村田 敏拓	東北薬科大学薬学部 生薬学教室	モンゴル生薬の薬効解析による薬草処方有効性の評価と効果的活用
酒井 良子	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 薬害監視学講座	日本と韓国の関節リウマチ患者登録システムを用いた分子標的薬の安全性に関する国際共同疫学研究

## 発行

公益財団法人かなえ医薬振興財団 事務局  
〒163-1488  
東京都新宿区西新宿 3-20-2 サノフィ株式会社内  
Tel：03-6301-3090 FAX：03-6301-3094  
E-mail：kanae.zaidan@sanofi.com  
URL：http://www.kanae-zaidan.com/

### ☆ご協力をお願いします

このニュースレターは、歴代受賞者及び応募関連領域の教室宛を中心に約 2500 部発行しております。  
送付先のご所属等に変更がございましたら、登録情報を更新いたします。お手数ですが e-mail 等でご連絡下さいますよう宜しくお願い申し上げます。